

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和7年度第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和7年7月11日（金）午後7時～午後8時45分
開 催 場 所	さくらホール（市民会館）会議室
出 席 者	出席者：諸橋委員長、森本副委員長、堀上委員、高久委員、中村委員（計5名）
議 題	議題1 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書について 議題2 令和7年度男女共同参画推進啓発事業について 議題3 （仮称）武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言について 議題4 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について： 各委員から出た意見を事務局において反映させて「男女共同参画推進市民委員会からの意見（案）」を作成し、次回の委員会で提示することとした。 議題2について： パネル展示及びアンケートのテーマは令和6年度と同様とし、事務局主催で実施することに決定した。 議題3について： 簡潔な宣言が良いという意見にまとまった。 議題4について： 次回委員会の開催時期については、事務局が各委員と調整の上、決定することとした。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発言者） ◎印：委員長 ○印：委員 ●印：事務局	報告事項 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和5年度推進状況調査報告書について －事務局より説明－ －質疑等なし－ 議題1 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書について －事務局より説明－ ◎ 資料3 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書（案）について、意見はあるか。 ○ 21ページの事業番号62番「避難所における男女共同参画の推進」の実施内容に、避難所運営マニュアルの修正と記載されている。女性の視点でのマニュアルの見直しを要望していたが、それは反映されているのか。 ● 同事業は第五次男女共同参画計画において事業番号51番「女性の視点等を反映した避難所運営の推進」に該当し、重点事業として設定されている。事業担当課においても、何を実施すべきか現時点でも認識しているはずである。 ○ 自己評価がC評価であるが、なぜか。 ● 十分な意見聴取ができなかったという、所管課の判断かと思われる。 ○ 15ページの事業番号39番「男女平等に関する各種情報の提供」の実施内容に、デエダラまつりにてパネル展の開催と記載されている。このパ

	ネル展でアンケートを実施していたはずだが、それは記載しないのか。 ● 16ページの事業番号45番「年代に応じた性教育の推進」において、該当のアンケートの実施を記載している。アンケートの内容が男女平等に関するものではなく、L G B T等に焦点を当てていたため、事業番号39番の実施内容に該当しないと判断した。 ○ 9ページの事業番号15番「職員への男女平等研修の実施」において、庁内研修を実施しなかったと記載されているが、なぜか。 ● 該当事業の事業担当課は職員課となっているが、例年協働推進課において庁内研修を実施していた。令和6年度は各種業務が輻輳していたため、対応できなかった。 ○ 11ページの事業番号24番において、開催回数は記載されているが、参加人数や参加対象が明記されていない。 ◎ 秘書広報課にどこで開催したのか、5回開催した内容は全て同じなのか等を確認してほしい。 ● 担当課に確認し、記載する。 ○ 11ページの事業番号27番「あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発の推進」において、実施内容に人権相談の認知度が記載されていない。 ● 認知度の調査をしていなかったため、記載していないと思われる。 ◎ 秘書広報課にどのような調査方法を想定していたのかを確認してほしい。 ○ 11ページの事業番号29番「メディア・リテラシーの育成とネット上での人権侵害の防止に向けた啓発の推進」の実施内容に新聞の切り抜きとあるが、切り抜いたものは活用しているのか。 ○ 新聞の切り抜きは、緑が丘ふれあいセンターの情報コーナーに展示をしている。ただし、メディア・リテラシーだけでなく、幅広く男女共同参画に関わる展示となっている。 ○ 13ページの事業番号35番「特に支援を要する様々な被害者への対応」において、地域相談支援事業所の設置という目標を達成しているが、B評価となっている。なぜか。 ● 目標どおりに収まっているため、B評価となっていると考えている。 ◎ どういった施設を設置し、どのような人員配置をしているか。 ● 基幹相談支援センターを委託により設置した。人員構成は把握していない。 ◎ 今後事業所の周知を徹底し、利用者数、相談内容などを把握して、次の報告書に反映させていただきたい。 ○ 19ページの事業番号55番「国際交流の推進と国際理解の促進」において、横田基地英語ツアー参加人数は把握しているか。 ● 把握している。追記する。 ○ 同事業のモンゴル料理教室について、令和5年度はオンライン交流を実施していた。モンゴル文化の理解促進事業として段階的に発展させていく上での計画的な狙いがあるのか。 ● 把握していない。 ◎ 姉妹都市を結んでいるのか。 ● 姉妹都市には至っていない。 ◎ 武蔵村山市内に在住している外国人はどの程度か。 ● 詳細な人数は記憶していないが、2千人前後と記憶している。 ○ 市役所内における女性の管理職の割合は変化したか。 ● 総数は変わっていないと思われる。 ○ 市役所の新規採用試験において、受験した人数の男女比と合格した人数の男女比はどの程度か。
--	--

- 職員課に人数構成を確認する。
- 市役所の管理職登用は、どのような手順を取っているか。試験を実施しているのか
- 現在は主任試験のみとなっている。係長職や課長職への登用は、選考である。
- 試験を実施するほうが、平等ではないか。
- 管理職を志す職員の減少など、総合的な判断により試験は実施していない。
- ◎ 審議会委員や各委員別の男女比の内訳を、常に報告書に記載するのはどうか。その方が目標値が立てやすく、議論がはかどると思われる。協働推進課としては、女性委員の参画促進のために各部署に働きかけているのか。
- 毎年度、男女比を周知するとともに、男女比の偏りをなくすよう依頼している。
- 男女に限らず、DV対策のための啓発が必要である。女性については公共施設の女性用トイレでカードの配布などをよく見るようになった。男性はどのように周知していくか。
- ホームページには、現在でも男性向けの記述がある。更なる周知に向けて、検討していく。
- 以前の委員会でもこの話題は出ていた。引き継いで年単位での取組を期待する。
- 現在63事業あるが、項目の数や中身は変更されるのか。
- 変更される。武蔵村山市第五次男女共同参画計画では、66事業に増加した。
- ◎ 活発な議論に感謝する。本日の意見や質疑を踏まえ、資料3を事務局において修正していただきたい。次の議題に進んでよろしいか。
ー異議なしー
- ◎ 議題1は以上とする。

議題2 令和7年度男女共同参画推進啓発事業について
ー事務局より説明ー

- ◎ 資料4「令和7年度男女共同参画推進啓発事業（案）」及び資料4別紙「啓発・情報提供等事業一覧」について、意見はあるか。
- 東京都のパートナーシップ制度について周知することが大切である。
- デエダラまつりでは、昨年度や一昨年も啓発事業を実施しているのか。
- 実施している。昨年度アンケートに回答いただいた人数は、198名であった。
- ◎ 都のパートナーシップ制度の周知・啓発に努めることを期待する。昨年度に引き続き、DVとアンコンシャス・バイアスを取り上げるのはどうか。
- 子供が見て理解しやすいものが望ましいと思う。アンコンシャス・バイアスなどは、大人向けではないか。
- そこは、アンコンシャス・バイアスでも対応できる。ランドセルの色は、男の子は黒で女の子は赤のようにイメージを付けられている。それは間違いであり、好きな色を使っていいと啓発していくことに意味がある。
- 子供向けの切り口があるのであれば、家族で来た時に、他の多様性等についても一緒に見て話ができるような良い効果が見込める。

- 例年緑が丘ふれあいセンターの作成したパネルを借用して展示をしている。デートDVなどのテーマでも、可愛いキャラクターを使用して子供が見やすくなる工夫がされている。
- 緑が丘ふれあいセンターでは、子供が見てもわかりやすいものを作成するように意識している。更に興味を引くために子供新聞のようなものを新たに作成することも検討したい。現時点でもわかりやすく作っているので、本委員の皆様にも見ていただきたい。
- パネル展は緑が丘ふれあいセンターのみに実施しているのか。緑が丘ふれあいセンターは市の東部にあるので、西方面に在住の方が見に行きづらい。良いパネルを展示しているだけに、もったいない。
- 7月15日まで、緑が丘ふれあいセンターで作成したパネルを市役所1階ロビーでも展示している。
- 昨年度、緑が丘ふれあいセンターに行きづらいという意見があったので、市役所でも展示を始めた。
- ◎ 今年度のパネル展示については、昨年度と同様のテーマを引き続き実施しつつ、子供向けの工夫をしていくことが重要と考える。
- 市民へのアンケート調査など、本委員会が協力できることは多々ある。人手が必要であれば、声をかけていただきたい。
- ◎ 主催は協働推進課で実施していただき、本委員の皆様には無理のない範囲でお手伝いいただければ幸いである。資料4別紙についてだが、緑が丘ふれあいセンターでは実施事業として祭りを行っていなかったか。
- 大きなイベントという位置付けであれば、「YOU・I フォーラム」を実施している。「YOU・I フォーラム」は男女共同参画事業の一部であるため、「YOU・I フォーラム」そのものは記載していない。
- ◎ 基本目標3の1「男女平等の意識づくりと固定的な性別役割分担意識の解消」又は基本目標4の①「地域での男女平等意識の醸成」に該当するため、記載してもいいのではないかと。それから事業番号58番「男女共同参画の推進を担う地域活動団体との連携」において、連携して活動する団体を見つけることができなかった旨を武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書の事業内容及び市民委員の意見に取り入れるとともに、資料4別紙にも追記していただきたい。
- 男女共同参画に資する活動を行っている市民団体とは、どのような団体を想定していたのか。
- 昨年度の会議において、商工会が候補に挙がった。その他、NPO団体の中で男女共同参画に関わりのある団体などとも連携していければと考えている。
- ◎ 事業番号58番については、今の回答内容も追記していただきたい。ほかに意見はあるか。
- ー意見なしー
- ◎ 議題2は以上とする。

議題3 (仮称) 武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言について
ー事務局より説明ー

- ◎ 資料5「(仮称) 武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言について」について、意見はあるか。
- ダイバーシティ都市宣言について、私は、しない方がよいという考えである。
- 市長の公約であるため、これから取り止めることは不可能である。
- 表現の方法として、対象を詳細に記述するのは、やめたほうがいいのか。

	ではないか。 ● 公約に掲げている内容については、記述の削減や変更は困難である。 ○ 箇条書きになると、対象が絞られていくように感じる。多様性は文字どおり多様なので、全て書き出さなければならなくなる。スローガンのように、シンプルな宣言の方が好ましい。 ○ 第五次男女共同参画計画の基本理念である「誰もが自分らしく 活躍できるまち むさしむらやま」の思いが内包されていることが望ましい。 ◎ ダイバーシティ都市宣言をすると、国から補助金を受け取れるなどのメリットはあるのか。 ● そういったものはないと認識している。 ○ こちらの宣言内容は、議会にて決定するのか。 ● 本市にもいくつか宣言があるが、これまで議会で議決を取ることはしていない。 ◎ ダイバーシティ都市宣言の手続について、庁内で議決を取ることも検討いただきたい。宣言に当たり、何かイベントなどは行うのか。 ● 未定である。 ◎ ほかに意見はあるか。 ー意見なしー ◎ 議題3は以上とする。 議題4 その他 ー事務局より説明ー ◎ 次回の会議は9月後半から10月前半頃とのことなので、日程等調整いただきたい。これをもって、令和7年度第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会を閉会する。
会議の公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 { } 傍聴者：0人
会議録の開示・非開示の別	☒ 開示 ☐ 一部開示（根拠法令等： ） ☐ 非開示（根拠法令等： ）
庶務担当課	協働推進部 協働推進課

(日本工業規格A列4番)